

令和二年度一般選抜学力検査問題

国語

(一時間目 六十分)

注意

- 一 問題用紙と解答用紙、メモ用紙のそれぞれの決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 二 問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 三 問題は1ページから6ページまであります。これとは別に解答用紙とメモ用紙がそれぞれ一枚あります。
- 四 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

|      |
|------|
| 受検番号 |
|      |
| 氏名   |
|      |

一 「聞くこと」に関する検査

二 次の文章を読んで、1～5の問いに答えなさい。

---

三 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

人間も動物も外からの刺激を受けると、その情報を脳で処理し、何らかの反応や行動を起こしますが、人間の脳ではそのカテイに「心」が介在していると考えられています。

たとえば、ネコに遭遇したネズミが逃げていくのを人間が見たとき、面前で起きているのは、「ネズミがネコの姿を捉えて、ネコから離れていった」というだけのことなのですが、人間はそのように単純には考えず、「ネズミが自分より大きなネコを見て『怖い』と思ったから逃げていった」という物語にするそうです。

このように、他者の「心」の状態を推し量って物語をつくることは、他の動物とコトなる人間特有の心の働きであると言われています。

1 カテイ<sup>①</sup> コト<sup>④</sup>なる を漢字に直して書きなさい。  
遭遇<sup>②</sup> 捉えて<sup>③</sup> の読み仮名を書きなさい。

2 人間も動物も外からの刺激を受けると とあるが、これを文節に分けると何文節になるか。解答欄にしたがって書きなさい。

3 逃げ の活用の種類を書きなさい。

4 単純 の対義語を漢字で書きなさい。

**四**

次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

---



五 次の文章を読んで、1～4の問いに答えなさい。

信濃の国は、きはめて風はやきところなり。これによりて、<sup>①</sup>諷

訪明神の社に、風の祝といふものを置きて、深くこめすゑて、

(「風の祝」という神官)

(奥深い所に風を閉じ込めて)

<sup>②</sup>いはひ置きて、百日の間、尊重することなり。しかれば、その年、

(神として祭り)

(そうすること)

風静かにて、農業のためにめでたし。おのづからすき間もあり、

(もしも)

日の光も見せつれば、風おさまらずして、悪しといふことを、

能登大夫資基といふ人聞きて、「かくのごとく承る。これを歌に

(こんなふうなことを聞きました)

よまむと思ふ」と、俊頼に語りければ、俊頼、答へていはく、

(源俊頼)

「むげに俗に近し。かやうのこと、さらに思ひよるべからず。

(決して考えてはいけない)

不便、不便」といひければ、その旨を存ずるところに、俊頼、の

(そういうことか)と思っていたが)

ちにこのことをよみける、

信濃なる木曾路の桜咲きにけり

風の祝にすき間あらずな

もつとも腹黒きことか。五品、後悔しけり。

(「十訓抄」による)

【注】

\*信濃の国……今の長野県

\*五品……資基のこと

1 こめすゑて、いはひ置きて、<sup>②</sup>を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きなさい。

2 さらに思ひよるべからず とあるが、何を考えてはいけなと言っているか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで記号を書きなさい。

- ア 風の神を百日間も尊重すること
- イ 言い伝えどおりに生活すること
- ウ 土地の風習を和歌に詠むこと
- エ 諏訪明神の社を軽んずること

3 本文中の和歌について、次のようにまとめた。「a」「b」に適する内容を、「a」には五字以内で、「b」には十字以内でそれぞれ書きなさい。

木曾路に咲いた桜を詠んだ和歌である。「a」土地である信濃の国で、人々の生活を守ってきた「風の祝」に、「b」ようにしてほしいという作者の願いを託している。

4 次は、この文章を読んだ生徒の感想である。「I」に当てはまる内容を、本文中から五字で抜き書きし、「II」に適する内容を、十五字以内で書きなさい。

本文には「I」とあるので、俊頼を批判する話だと思っ  
ていましたが、図書室で「十訓抄」を調べたら、この話は「ひ  
たすら思慮深くあるべきこと」という教訓話として載ってい  
ました。たしかに、資基が思慮深かったら、「II」ことはし  
なかつたし、後悔することもなかつたと思いました。

六 あなたが考える「外国人に伝えたい日本の魅力」を、伝えたいと思う理由を交えて、次の〈条件〉にしたがって書きなさい。

〈条件〉

- ・ 題名は不要
  - ・ 字数は二百字以上、二百五十字以内
-